



ぬ

濡れたまま 気持ち悪いの ほんとはね



昭和の頃までは、布オムツが赤ちゃんのオムツの主流でした。今ではほとんどが紙オムツで、性能も良くなり、安価で、オムツかぶれもかなり減り、おしっこなどが漏れることもほとんどなくなりました。

赤ちゃんにとっても、うんちが出たときは気持ち悪いでしょうが、おしっこだけでは、気持ち悪さは感じにくくなっていると思います。

ですから、オムツを替えるたびに「濡れて気持ち悪かったね」と受け止めてもらい、替えた後で「気持ちよくなったね」と共に喜んでもらったというのは、もう昔話の類かもしれません。とはいえ、一日に何度もあるおむつ替えの時間が、互

いへの思いを少しずつ築いていく、大事なひとときになれば良いなと思います。

性能がとても良くなったからでしょう、紙オムツをたぶたぶにして歩いているお子さんをよく見かけます。でも、さすがにそこまで重いと赤ちゃんの身体の動き方のバランスに影響が出てしまうので、気を付けて下さいね。乳児期は、お母さんのおなかの中から出てきて、重力を感じながら身体の動かし方を学ぶ時期なので、できるだけ身体のバランスを崩す事は避けたいのです。

令和の赤ちゃんは「濡れたまま 重さがつらいの ほんとはね」と思っているかもしれませんね。